

蔬 菜

雪印が
お奨めする

南 瓜

(一代交配 平型美園)

育成選抜品種の解説

(一) 育成選抜の目的と経過

美園デリンヤスが収穫作業、輸送中に打傷をうけやすく、貯蔵性の乏しい原因となつているため、形の改良と、さらに早生性をあたえる目的で、多くの洋種系南瓜の品種を集めて交配を行なった。そのうちでバタカップとの一代雑種が平型で良く揃い、

早生性も具えているので数年間生産力検定を続け昭和三十四年、一代交配平型美園と名付け発表したものである。

(二) 特性概要

本種は着果節位低く、主枝上の着花も美園デリンヤスより極めて多い。しかも開花後二〇〜二五日で食味の充分な極早生種



平 型 美 国

で、洋種南瓜中最も早い。果実の形は肩張りの良い扁円形で収穫、輸送に便で、比較的貯蔵力もある。大きさは美園デリンヤスより小型の1・5〜2・0キロ以内、主枝上何個着果させても同形で良く揃う。外皮は暗緑色で僅かにコルク質を見うけるが柔らかい。肉質は美園デリン

ヤスを上廻り、厚肉で甘味も強い。草勢は稍強く、側枝の伸長はさほど旺盛でないが、ウドンコ病などの病害には強いほうである。

(三) 栽培上の注意

本種は育苗による促成栽培から、露地放任栽培にても極めて能力高く、側枝の伸長

から見てもかなりの密植が可能な品種である。着花性の高いことは前に記したが、根元から四節長さの蔓に六〜七から一〇ぐらいう着花するけれども極早生性を生かすために、花粉媒助を行なって早めに着果させることが大切である。花粉媒助は早朝に行ない、雨天の続く場合合袋をかけるなど雨除けをしないと実どまりは不良である。

第一表 南瓜品種による着花節位

品 種 名	開 花 始		着 花 節 位				
	雄	雌	一番花	二番花	三番花	四番花	五番花
平 型 美 園	七月 日	七月 日	一〇・六 節	一四・二 節	一六・四 節	一九・二 節	二二・八 節
芳 香 園	二〇	二六	一三・六 節	二〇・四 節			

注 芳香は主枝長四節以内に平均二花着花、平型美園は六〜七花着花する。

第二表 南瓜品種比較

(昭和三十七年上野幌育種場)

品 種 名	第一着果節位		果 梗 太 ざ	一 株 当 個 数	一 個 平 均 重	平 均 糖 度
	センチ	センチ				
平 型 美 園	八〇・二	四・七〇	四・五〇	一・五〇	一・五〇	一五・〇
芳 香 園	一六五・〇	三・四七	一・五〇	二・〇六三	一五・四	一五・〇
赤 皮 栗	一一三・五	三・一三	三・一三	二・〇〇	一・三〇六	一三・〇
黒 皮 栗	一八九七	四・五二	四・五二	二・三〇	三・二一九	一一・〇